

九州大学病院

研修医 市丸 壽姫 2017 年 6 月

6 月に地域医療研修をさせて頂きました、研修医 2 年目の市丸壽姫と申します。

昨年度出水総合医療センターで研修された先生方に勧められて、こちらでの研修を選択させて頂きました。1 ヶ月という短い期間でしたが、とても充実した日々を送ることが出来ました。

出水市には今まで来たことがなかったため、今回の研修を楽しみにしていました。出水では、道を歩いていると小学生や中学生が自分から挨拶してきたことに驚きました。また、梅雨の季節だったため、色とりどりの紫陽花を見ながら町歩きができ、心癒された 1 ヶ月間でした。

野田診療所ではエコー、内視鏡などの検査を内村先生から手取り足取り指導して頂きました。また、外来診療のコツや見落としをしないためのポイントなどを教えて頂きました。高尾野診療所では慢性疾患の外来を経験させて頂きました。大学病院では病棟業務が中心だったため、初めての外来に戸惑いながらも西元寺先生のサポートのもと、なんとか外来を回しました。予約外で外傷の患者さんが来院することもあり、余裕を持って効率よく外来を回さなければいけないと痛感しました。どちらの診療所も紙カルテであり、紙カルテでの診療は初めてで貴重な体験でした。

上場診療所では僻地医療を垣間見ました。上場での診療は月に 2 回しかないこと、すぐに検査が出来る環境ではないこと等、当たり前と思っていた医療環境が当たり前ではないということを痛感しました。また、そういった環境では 1 回 1 回の診療を大事にし、何か体調に変化が起きていないか見逃さないようにすることがより重要だと感じました。

院内では循環器内科を中心に、医療安全管理、地域医療連携、看護部、薬剤部、臨床工学科、臨床検査科、リハビリテーション科で研修させて頂きました。色々なことを丁寧に教えて頂きました。循環器内科では楠元先生、則松先生に大変お世話になりました。慢性心不全増悪や不整脈など循環器内科以外の診療科でも遭遇することへの基本的な対応を学びました。PCI、ペースメーカー留置、アブレーションも経験することが出来ました。

病理部では標本の切り出しをさせて頂いたこと、回復期病棟では患者さんの回復度に合わせて看護・リハビリを変えていく必要がある、ということが特に印象に残りました。

保健センターでは、妊娠・出産・子育てで悩む人々を孤立させないように、困っている人を早期発見・早期介入し、地域全体で母子をサポートしていく体制を学びました。母子保健も多職種が関わっており、スタッフの皆さんは悩みを持つ方々に優しく温かく接しておられたのが印象的でした。

最後になりましたが、お忙しい中、時間を割いて丁寧に指導して下さいました方々に深く感謝申し上げます。風邪を引いてしまって体調が悪い時に心配して頂き本当にありがとうございました。大学病院に戻りましたら、私も後輩達に出水総合医療センターでの研修を勧めようと思います。